

第52回(2007年)

問13 組織荷重係数 (ICRP 1990年勧告) に関する次の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- A 低線量被ばくによる確率的影響を評価するための係数である。
- B 吸収線量に組織荷重係数を乗ずることにより、等価線量が求められる。
- C 線量率にかかわらず、臓器・組織ごとに値が定められている。
- D 放射線の種類にかかわらず、臓器・組織ごとに値が定められている。

① ACDのみ    2 ABのみ    3 BCのみ    4 Dのみ    5 ABCDすべて

問19 確率的影響と確定的影響に関する次の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- A 晩発障害には確定的影響はない。
- B 早期障害には確率的影響はない。
- C 遺伝的影響は確率的影響である。
- D 不妊は確定的影響である。

1 ABCのみ    2 ABDのみ    3 ACDのみ    ④ BCDのみ    5 ABCDすべて

問20 放射線障害のしきい値に関する次の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- A 同じ障害であれば、放射線の種類によらず一定の値をとる。
- B 確定的影響でみられる。
- C 線量率が異なっても変動しない。
- D 発生・成長の時期によって大きく変動する。

1 AとB    2 AとC    3 BとC    ④ BとD    5 CとD

問24 組織荷重係数 (ICRP 1990年勧告) に関する次の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- A 遺伝的影響も対象にしている。
- B 男女で同じ係数が用いられる。
- C 職業人と一般公衆では係数が異なる。
- D 非致死がんも対象にしている。

1 ABCのみ    ② ABDのみ    3 ACDのみ    4 BCDのみ    5 ABCDすべて